



第164回糖尿病教育学習研究会（トップセミナー）
第203回IIDES糖尿病研究会
第138回CDE兵庫県連合会研究会
—合同研究会のご案内—



日 時 : 2022年9月24日(土) 14:00~17:15
場 所 : 神戸商工貿易センター 26階 第1会議室
神戸市中央区浜辺通 5-1-14 TEL:078-251-5489

プログラム :

14:00~14:15 住友ファーマ株式会社 ー情報提供ー

14:15~15:45 (座長: 富永 洋一 社会医療法人 愛仁会 総合健康センター 所長、
NPO法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事)

(14:15~15:00)

基調講演Ⅰ. 『糖尿病チームにおける公認心理師(臨床心理士)の役割について』
公益財団法人 甲南会 甲南医療センター 公認心理師/臨床心理士 奥澤 朋奈 先生

(15:00~15:45)

基調講演Ⅱ. 『どうするアドボカシー ~PROを高めるために~』
神戸大学大学院医学研究科 総合内科学 村前 直和 先生

15:45~17:15 (座長: 芳野 原 医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 常任学術顧問 糖尿病センター長、
東邦大学名誉教授、NPO法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事長)

特別講演 『これから本当に必要とされる多職種連携とは
~中規模急性期病院における糖尿病チームの取り組み~』
神戸市立医療センター西市民病院 糖尿病・内分泌内科 部長 中村 武寛 先生

- 注) ① 会場とオンライン同時配信により**ハイブリッド講演会**になります。
② 会場参加定員: **先着43名** (キャンセルができた際には、外れた方順に参加可能のお知らせをいたします。)
③ 会場参加者は必ずマスク着用をお願いします。また、発熱がある方は入場をお断りしますので、体温を測定してからお越しください。
④ 新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンラインのみの開催、または中止となる場合がございます。その場合は申込されたメールアドレス、または連絡先にご連絡いたします。

(1) 参加費: 2000円

(2) 申込方法: 事務局へご氏名、ご所属、職種、ご連絡先、オンライン参加か会場参加か(オンラインの場合、必要な単位申請先)を明記の上、E-mail(パソコンからの発信可能アドレスをお知らせください)、またはFAXにてお願いいたします。

注) CDEJ更新のための認定単位が必要な方はWeb講習は対象外です。また、日病薬薬学認定制度の認定単位が必要な方は、本オンラインでは単位対応できません。会場参加でお願いいたします。

(3) 連絡事務局: 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所(NPO-IIDES)

〒651-1112 神戸市北区鈴蘭台東町7-10-16

TEL:078-591-7515 FAX:078-591-7512

E-mail:yoshino@npo-ides.or.jp

- ※ 日医生涯教育講座認定 講演1: CC5・05単位、講演2: CC76・05単位、講演3: CC10・15単位 申請中
- ※ 日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会(第2群) 1単位 (オンライン参加不可) 申請中
- ※ 日病薬薬学認定制度 Ⅲ-2・2単位 (オンライン参加不可) 申請中
- ※ 糖尿病療養指導士兵庫県連合会 認定更新のための研修会 2単位

共催: 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所
糖尿病療養指導士兵庫県連合会
一般社団法人 兵庫県病院薬剤師会
住友ファーマ株式会社

オンライン参加の方へ

1. オンライン参加をお申込みされた方へは、参加費振込先を申込メールアドレスにお送りいたします。
(オンライン参加費振込締切日は9月23日まで。振入手数料は各自でご負担願います。入金された参加費については、返金対応いたしませんのでご了承ください。)
 2. 入金確認後、事前登録URLを申込メールアドレスにお送りいたします。
 3. 当日オンライントラブル連絡先：住友ファーマ株式会社 窓口 南部 (TEL: 080-4153-7056)
- ※ご連絡頂く「個人情報」は本会運営の目的のみに使用させていただきます。

【認定単位の必要な方へ】(単位取得までの流れ)

- 受講確認のため、受講中に3回キーワードを発表します。必ずメモしてください。
キーワードが全部合致しない場合は、受講したものと認めませんのでご注意ください。

1. 糖尿病療養指導士兵庫県連合会認定に関して

受講後、当日中に3回のキーワード、ご氏名、認定番号、送付先住所を事務局メールアドレスにお送りください。
キーワードが合致した方のみ、参加証(単位申請用)を送付いたします。

2. 日医生涯教育講座認定に関して

受講後、当日中に3回のキーワード、ご氏名、所属医師会、医籍番号、送付先住所を事務局メールアドレスにお送りください。キーワードが合致した方のみ、受講記録表を送付いたします。

— 抄 録 —

基調講演1. 『糖尿病チームにおける公認心理師(臨床心理士)の役割について』

奥澤 朋奈 先生 公益財団法人 甲南会 甲南医療センター 公認心理師/臨床心理士

糖尿病の治療は、医療者が提供する医療だけでなく、患者自身が治療に取り組む姿勢も重要になる。患者のこころ(どのように考え、感じ、行動するか)に関心をもつことが行動変容の促進につながることも多い。今回は、当院での糖尿病教育入院における公認心理師の活動を紹介し、心理職の役割について述べたいと思う。

基調講演2. 『どうするアドボカシー ～PROを高めるために～』

村前 直和 先生 神戸大学大学院医学研究科 総合内科学

糖尿病は多くの場合無症状で、ぶっちゃけ糖尿病があってもその人は困りません。でも糖尿病の治療といえば日常生活で負担が半うことばかり。定期的な通院はもちろん、食事や運動に薬・医療者は指導さえすれば良い(言うことを聞かないのは患者さんのせい?)というのはもはや時代遅れだと思います。患者さんが今の治療に満足しているのか、どんな負担や不満を感じているのか、それを評価するのがPRO(Professionalじゃなくてpatient reported outcome)です。前半はPROについてのエビデンスを紹介します。

また患者さんは糖尿病と診断された時から恥や罪といった負の感情を多かれ少なかれ抱きます。その原因として糖尿病にまつわるスティグマが注目されています。医療者の何気ない言動も実はスティグマをまとっていることに気づいていますか?後半では「どうするアドボカシー」として、スティグマを払拭するために誰しもがコツコツ出来ることを紹介しようと思います。

特別講演 『これから本当に必要とされる多職種連携とは

～中規模急性期病院における糖尿病チームの取り組み～』

中村 武寛 先生 神戸市立医療センター西市民病院 糖尿病・内分泌内科 部長

糖尿病医療において、多くの職種がそれぞれの専門性を活かして協働することが重要です。ただコロナ禍により、糖尿病患者さんの病気とともに生きる生活の継続が今まで以上に困難となっています。これから本当に必要とされるチーム医療のあり方を皆さんと一緒に考えます。

◇会場案内図(神戸商工貿易センター)

- 三ノ宮駅(JR) 三宮駅(阪急・阪神・市営地下鉄山手線)
下車徒歩10分
- 三宮花畑詰南駅(市営地下鉄海岸線) 下車 徒歩5分
- 三宮駅(ポートライナー) 貿易センター駅下車すぐ

